

岡本眸の春の句

春水や岩越すときのうすみどり
青き踏みゆき電柱の影も踏む
啓蟄の夜のにぎやかな壘の目
裏門は川波あかり卒業歌
烏雲に働くための靴増えて

松岡隆子 抽